

TOTO

施工説明書

シングルレバー混合栓施工説明書

(清水器用)

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

1

安全上の注意

(安全のために必ずお守りください。)

お取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただき、お密接や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。
	してはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制内容」です。

注意

	湯・水を逆に配管しないでください。水を出そうとしても、湯が出て、やけどをするおそれがあります。
	給湯温度は最高85℃まででお使いください。85℃以上で使用になると、器具の寿命が短くなり水栓の破損で水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	水栓本体内部を分解しないでください。水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

この商品は、TOTO温水器 (TK300B型) とセットで使用することで温水器兼用水栓となります。

2

使用条件

1 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 { 最低必要水圧…(下表参照)
最高水圧: ……0.75MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
TOTO ハイカスタム	16号	0.06
	20号	
	16号	
TOTO ハイトリコン	20号	0.05
	21号	
	24号	
TOTO ハイコラソド	16号	0.06
	20号	
	24号	
TOTO ハイアクテイ	約21号 約27号	0.05

<設定条件>

項目	比例制御タイプ
吐水ハンドル	全開
吐水温度	38℃
給湯配管長さ	5m
着火条件	●給湯機が着火する下限の圧力 ●水温が高い (25℃) 夏期を想定
出湯温度	60℃

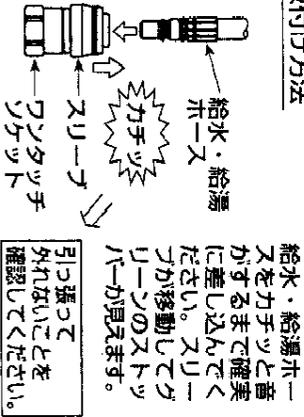
*能力手動タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さい方に切替える
と着火しやすくなります。

4

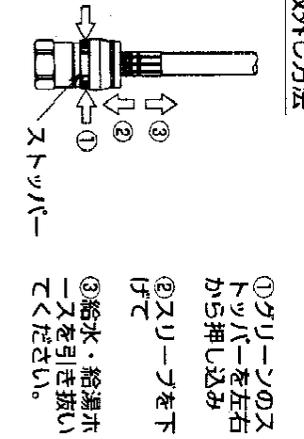
取付け前に

より簡単に施工していただくために、ワゴンツチソケットを採用しています。
ワゴンツチソケット（一般用：逆止弁付、寒冷地用：逆止弁なし）
混合栓の給水・給湯ホースとソケットの脱着がワゴンツチで可能です。

取付け方法

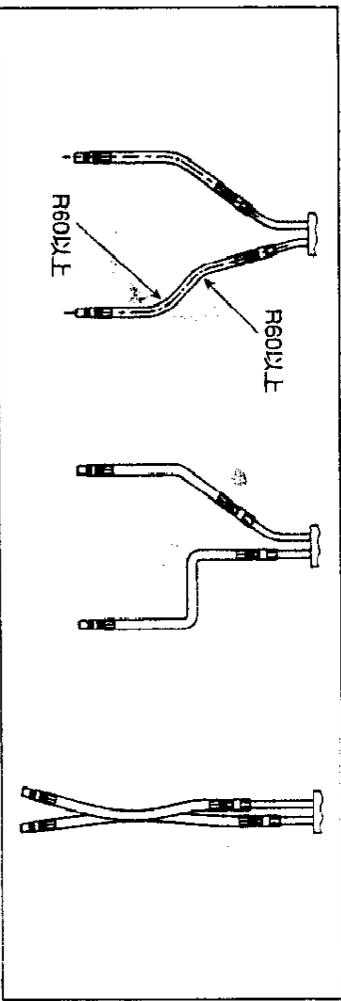


取外し方法



給水・給湯ホースの施工上の注意点

- (1) 給水・給湯ホースを逆に使用しないでください。
- (2) ホースの折れに、ご注意ください。
ホースを最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあり、折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。
施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
- (3) 金具本体端面から極端に屈曲して、施工しないでください。
- (4) ホース同士の不要な接触は避けてください。
外部摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性がありますので避けてください。



止水栓位置の確認（下記の位置が推奨位置です。加工前に確認してください。）

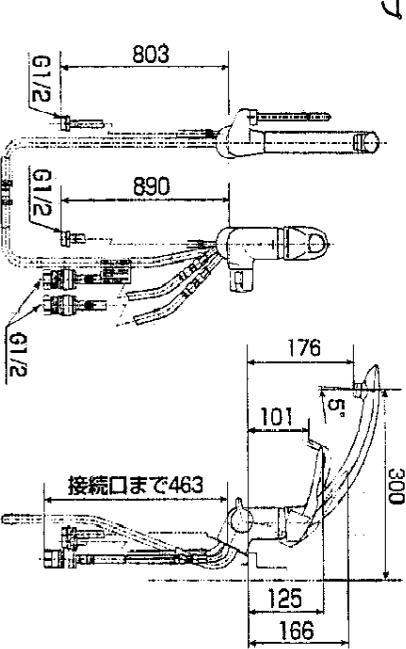
- (1) 高さ方向：床から480mm
- (2) 水平方向 給水：本体より右に270mm 給湯：本体より右に170mm

5

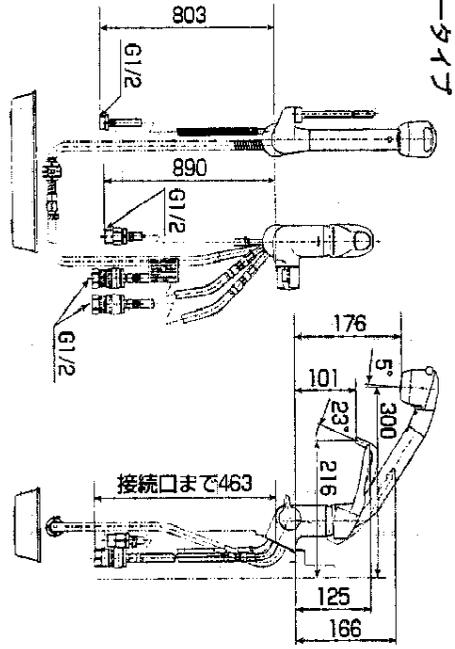
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

スバウトタイプ
(TK50-2型)



ハンドスプルータイプ
(TK51-2型)



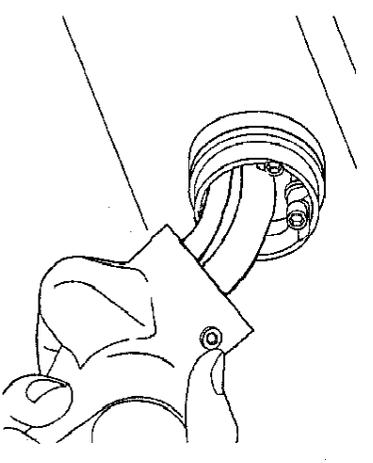
使用上の注意

この商品は、オナーターハンマー低減機構を採用しております。リバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じることがあります。リバーハンドルはありません。
一方、リバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

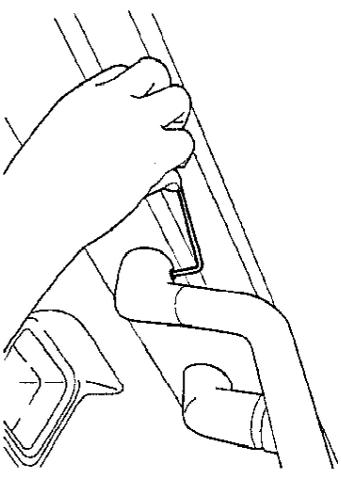
スバウトタイプ

3A スバウトの取付け (スバウトタイプ)

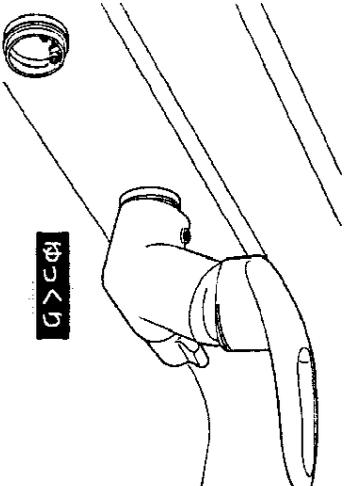
3A-1 本体と同様に止めねじを仮ねじこみ後、清水ホース、混合ホースの順に左側の取付金具に挿入し、スバウト根元部がシソクに接するまで取付金具にゆっくりに押しこむ。



3A-2 スバウト部の向きを合わせて、スバウト部をシソクに押当てたまま、本体と同様に六角棒スバウトで止めねじを締付けた後、キャップを押し込む。

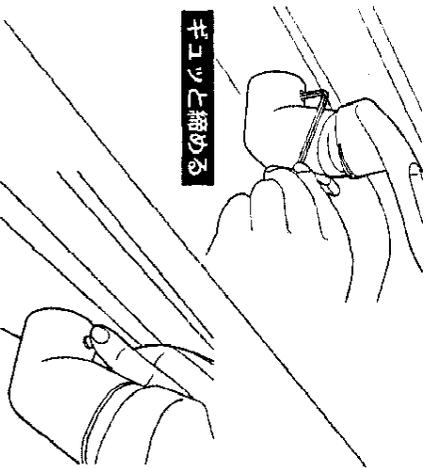


2-5 本体が取付金具まで挿入できたら、本体の根元がシソクに接するまで取付金具にゆっくりに押しこむ。



入りにくい場合は、取付金具のOリングに水等をつけると入ります。

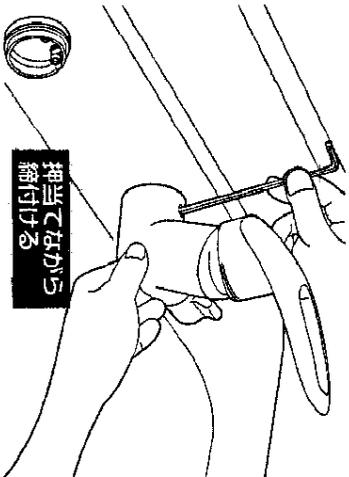
2-7 六角棒スバウトの短い方を使って締め、確実に固定する。その後、止めネジのキャップを押し込む。



キャップと締める

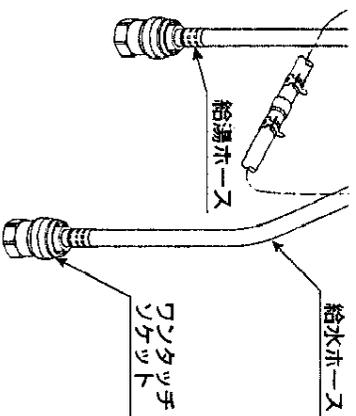
本体が確実に固定され、ガタ等がないことを確認ください。

2-6 本体の向きを合わせて本体をシソクに押当てたまま、六角棒スバウトの長い方を使って止めネジを締付ける。



締付後、本体がまっすぐに取付けられていることを確認ください。

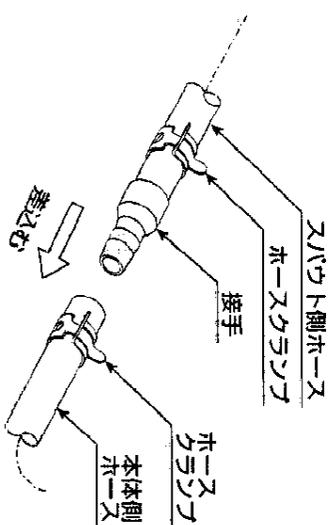
2-8 ソンタツチソケットを上水栓にねじ込んだ後、給水ホースをソンタツチソケットにカチツと音がするまで挿入する。(キャビネット内の作業)



この作業はスバウト(ハンドシヤワー)取付後、実施ください。
ソンタツチソケットのグリーンのアトツパーが見え、漏れがないことを確認してください。

4A 混合ホースの接続 (キャビネット内の作業)

本体側混合ホースにホースクラソクを通した後、スバウト側混合ホースの接手先端を混合ホースに押し込み、**クラソクを固定**する。
ホースは接手の指元まで差込むください。

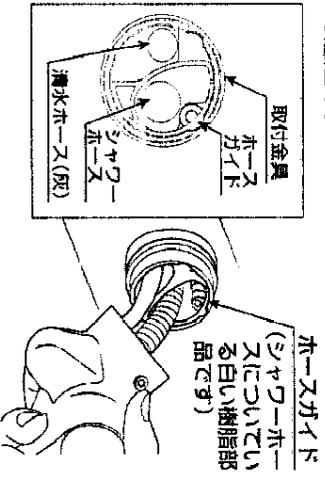


通水時、漏れがないことを確認してください。
給湯、給水ホースと混合ホースがからまないように注意ください。

ハンドシャワータイプ

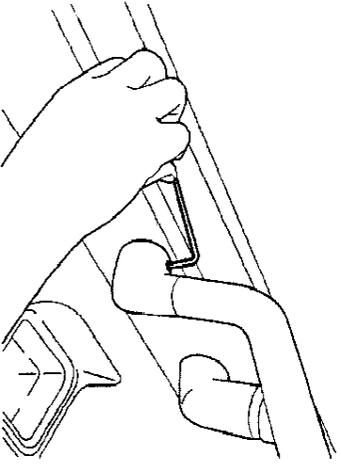
3B ハンドシャワー一部の取付け

3B-1 本体と同様に止めねじを仮ねじこみ後、清水ホース、シャワーホースの順に左側の取付金具に挿入する。こゝでシャワーホースをほぼ挿入したところでホースガイドを取付金具の形状に合わせて差込む。

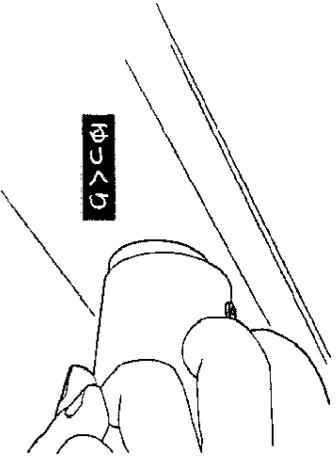


ホースガイドの凸部と取付金具の凹部を合わせるように取付けてください。

3B-3 ハンドシャワー一部の向きを合わせてハンドシャワー部をシンクに押当てたまま、2-6～2-7と同様に六角棒スパナで止めねじを締付けた後、キャップを押し込む。



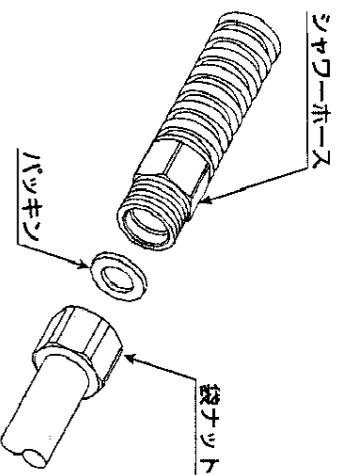
3B-2 ハンドシャワー部を根元部分がシンクに接するまで取付金具にゆっくりにしてゆき、ゆっくりにしてゆき。



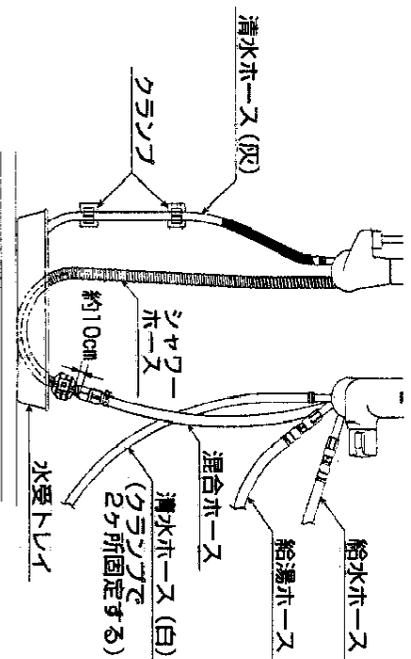
入りにくい場合は、取付金具のOリングに水等をつけると入りやすくなります。

4B シャワーホース、ストッパーの接続、水受けトレイの設置(キャビネット内の作業)

4B-1 本体側の混合ホースの袋ナットにパッキンを入れ、シャワーホースを工具で締め込み接続する。



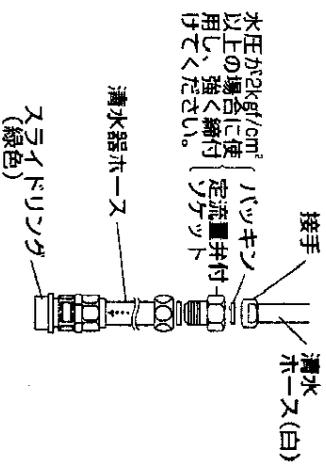
4B-2 図の位置にストッパーをつけ、水受けトレイをキャビネット内に設置する。



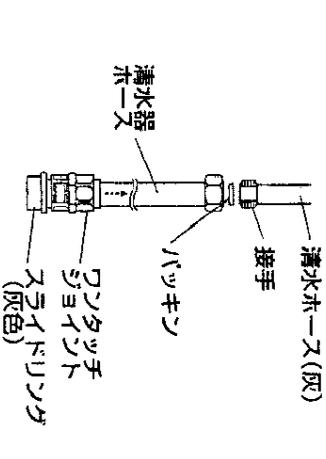
給湯、給水ホースとシャワーホースがからまないようにご注意ください。
カートリッジを取付けてシャワーホースの出入れ確認後、清水ホースをシャワーホースのじゃまにならないようにクラックで止めてください。

5 水栓の清水ホースと清水器ホースの接続(キャビネット内の作業)

5-1 水栓本体の清水ホースに、清水器の緑色のスライドリングのついたホースを接続する。



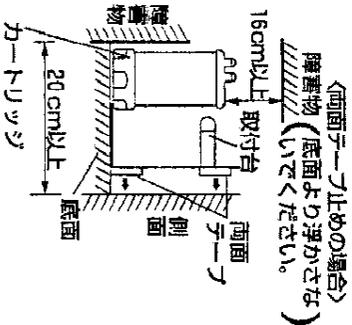
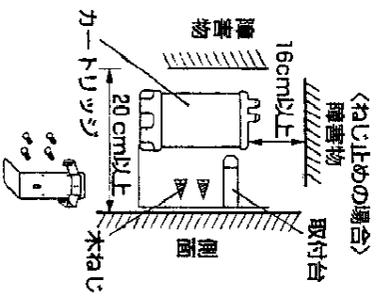
5-2 スアウト側の清水ホースに清水器の灰色のスライドリングのついたホースを接続する。



ホースが長い時は、ホースクランプと接手をはずしてホースを切って再度接手をさしこみ、ホースクランプで元のよう固定してください。
清水器ホースは、清水器付属品です。
混合栓接続部ラベルとホースの向きを同方向になるように接続ください。

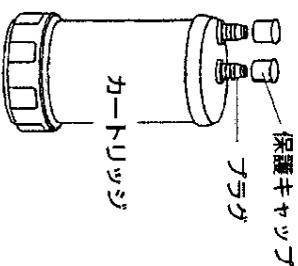
6 清水器の取付け(キャビネット内の作業)

清水器は、キャビネット内で水栓より接続可能で取付台、カートリッジ本体を十分支えられる場所を選んで取付ける。
取付台は、ねじ又は、両面テープで取付けてください。(下図参照)

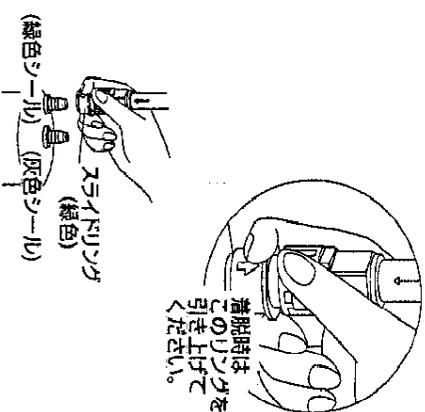


7 カートリッジの取付け(キャビネット内の作業)

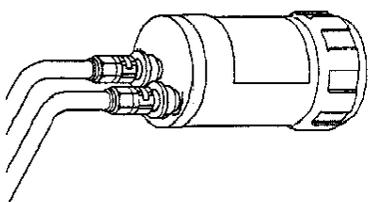
7-1 カートリッジのプラグ先端の保護キャップを外し、カートリッジのシールとカイドリングの色を合わせて接続する。



7-2 接続時はスライドリングを上へ上げたまま、いちばん奥までしっかりと押し込む。

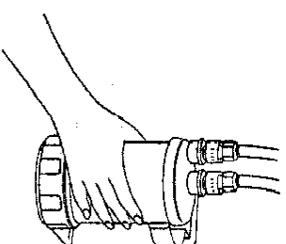


7-3 カートリッジに通水し、水漏れがないことを確認する。
通水しながらカートリッジを持ち上げ、逆さまにして、カートリッジ内の空気を抜く。



逆さまでしばらく通水ください。

7-4 取付台にカートリッジを手で押込んで固定する。



ホースがねじれたり、からんだりしないように注してください。
給湯ホースにホース、カートリッジが接触しない様ご注意ください。

